



地区大会における決議事項

地区大会では、決議委員会委員長（松本新太郎バスターガバナー）によって以下の決議案が説明され、立野ガバナーが議長となって、原案通り2660地区として採択された。

なお、第8号ではIM再編に関して、時間をかけて検討を開始することが、第10号では従来のロータリークラブとは異なる新たなクラブの設立や、各クラブの中長期計画を策定する戦略計画委員会の活動を活発に行うことで会員増強に繋げていくことが、第11号では会員の「My Rotary」への登録によって、世界のロータリーの動きの理解を促進し、クラブの情報を一元管理する「Rotary Central」に全てのクラブが加わってRIと直接連携し、適切な指導・援助を得る事ができるようにしたいことが盛り込まれている。

【第1号】 国際ロータリー会長代理 水野正人氏に対する感謝の件

国際ロータリー第2580地区バスターガバナー水野正人氏は、国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン氏の代理として、公私ご多忙の中、本大会にご臨席を賜り「Be a gift to the world」「世界へのプレゼントになろう」のRIテーマを推進するために極めて格調の高いメッセージにより、参加者全員に深い感銘を与えて下さいました。よって本大会は、国際ロータリー会長代理水野正人氏に対し、深甚なる謝意を表すことを決議いたします。

【第2号】 国際ロータリー第2660地区直前ガバナー泉博朗氏に対する感謝の件

直前ガバナー泉博朗氏は、国際ロータリー直前会長ゲイリーC.K.ホアン氏のRIテーマ「ロータリーに輝きを」のもとに、リーダーとしてこの1年間奉仕活動にご尽力されました。若手ロータリアン研修セミナーやロータリーフェスティバルの開催を通じて、特に次代を担う青少年の育成に情熱を注がれました。これらの成果は、直前ガバナー泉博朗氏の卓越した指導力と献身的努力の賜物であります。よって、本大会は直前ガバナー泉博朗氏に対し、その功績を称え、深甚なる感謝の意を表すことをここに決議いたします。

【第3号】 災害支援に関する件

当地区及び当地区内各クラブは、国内外に大規模自然災害が発生した場合、今後も被災者救援と被災地の復旧復興のため迅速、且つ、有効な支援活動を行う事を決議いたします。

【第4号】 国際大会への参加を推進する件

K.R.ラビンドラン氏がRI会長を務める本年度の国際大会は、2016年5月28日(土)～6月1日(水)の5日間、韓国のソウルにて開催されます。当地区のロータリアン及びご家族の国際大会への参加を推進することを決議いたします。

【第5号】 2014-15年度の収支決算書を承認する件

本大会は、国際ロータリー第2660地区の2014-2015年度収支決算書を承認することを決議いたします。

**【第6号】 次年度地区大会開催に関する件**

2016-2017年度国際ロータリー第2660地区の地区大会は、大阪北ロータリークラブがホストクラブを務め、2016年12月9日(金)・10日(土)に大阪市(リーガロイヤルホテル、大阪国際会議場)において開催することを決議いたします。

【第7号】 次年度の為の研修・協議会負担金に関する件

2016-2017年度の為の研修・協議会は、大阪北ロータリークラブがホストを務め、2016年4月9日(土)に大阪国際会議場で開催されます。これまでの負担金はクラブ会員数30名以上が11万円、30名未満が9万円となっていますが、10名未満のクラブについては3万円の負担金とすることを決議いたします。

【第8号】 IMの在り方を検討する件

長年、当地区はIM 8組編成で活動を行っていますが、IM毎のクラブ数・会員数に格差が生じて来ました。またガバナー補佐を選出する方法については、長年輪番制をとってきましたが、時代の変化を受けて、広く有為な人材を登用していける方法に改める必要があると考えます。2018-2019年度を目処に、時代にあったガバナー補佐の選出方法やIM再編成を実行することを決議いたします。

【第9号】 ロータリー財団への寄付を通じた奉仕活動とポリオ撲滅を推進する件

ロータリー財団への寄付は各クラブが実施する社会奉仕活動・国際奉仕活動、全世界的に統一した活動としてのポリオ撲滅、6つの重点分野に目標を絞ったグローバル補助金、平和フェローの育成、職業訓練チームの派遣、といった尊い活動に費やされています。私たちはこれらの奉仕活動を力強く推進していく為にもロータリー財団への理解を深め、その寄付を強力に推進することを決議いたします。

【第10号】 時代にあった拡大・増強を推進する件

長期低落傾向にあった会員数はやや下げ止まりの兆候が見られますが、今後もロータリーが地域に欠かせない活動を行っていくためには、拡大・増強は避けて通れない課題であります。各クラブの会員増強努力に加えて、ロータリー学友(財団奨学生・GSE・RYLA・RAC・IAC・ROTEX・米山奨学生)が中心となった新たなクラブ作り、E-クラブの設立など、従来のロータリークラブとは異なる新たなクラブの設立や、各クラブの中長期計画を策定する戦略計画委員会の活動を活発に行うことで会員増強に繋げていくことを決議します。

【第11号】 ITの活用を通して情報共有を推進する件

ITの活用はグローバルな時代にあって積極的に進めていくべき課題です。国際ロータリーが推進している「My Rotary」の登録を一人でも多くの会員に広め、世界中のロータリーの動きを会員が理解し、クラブの情報を一元管理する「RotaryCentral」には全てのクラブが入力することによりRIとクラブが直接連携し、適切なクラブへの指導・援助を得る事ができるようにしていくことを決議します。